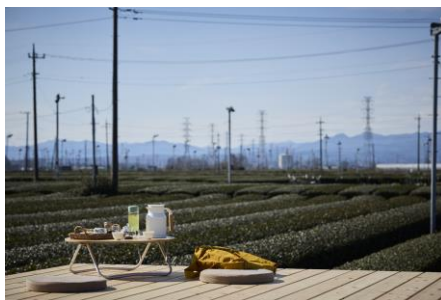


環境経済部 組織目標



環境経済部は、エコ・クリーン政策課・生活環境課・総合クリーンセンター・農業振興課・商工観光課で構成し、環境の保全、廃棄物の減量及び処理、入間市の元気の源となる農業及び自然保護、商工業及び観光、労政などの施策に取り組んでいます。

環境経済部の目標（令和5年度）	環 境 経 済 部 長
【部の基本方向】 1 快適な市民生活が送れるよう、生活環境の保全や地球温暖化防止、廃棄物対策により、住みやすさが実感できるまちづくりを目指します。 2 誰もが元気に働くことのできる調和のとれた産業振興を図り、地域の特性を活かした農業と活気に満ちた商業や工業の発展を目指します。 3 入間市の知名度や好感度を向上させ、市民や来訪者が愛着を実感できる市を目指します。	
【部の重点方針】 1 ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを加速化するとともに、安心して健康に暮らせる生活環境の維持と保全を図ります。 2 ごみの減量・資源化を徹底する事業を展開し、環境への負荷の少ない循環型社会を推進します。 3 狭山茶・地場農畜産物等の生産振興を図るとともに、地産地消の取り組みを推進します。 4 ニューノーマルに対応する持続可能な企業支援に取り組み、ウィズコロナ時代の地域経済の活性化に取り組みます。 5 茶畑の活用や大型店舗と連携した観光誘客を行うなど、入間市の知名度や好感度の向上に取り組みます。	
【課の目標（達成すべき目標）】 【エコ・クリーン政策課】 1 「入間市地球温暖化対策実行計画」に基づき、省エネルギー対策や二酸化炭素排出量抑制に取り組みます。 ○ゼロカーボンシティ推進設備を設置した市民に補助金を交付します。 ・V2Hシステム：5件 ・太陽光発電システム：55件 ・定置用リチウムイオン蓄電池：55件 ○本庁舎以外の公共施設に電気自動車（EV）を設置します。 ・電気自動車（EV）：3台 2 市域の脱炭素社会・循環型社会づくりのため、民間企業との連携を推進します。	【目標の達成度合】 1 ゼロカーボンシティ推進設備を設置した市民へ補助金を交付しました。 ・V2Hシステム：5件 ・太陽光発電システム：50件 ・定置用リチウムイオン蓄電池：49件 また、健康福祉センターに太陽光発電設備および電気自動車（EV）2台を導入し、令和6年3月1日からシェアリングサービスを開始しました。 2 脱炭素量を計測できるアプリ「SPOBY（スポビー）」を運用し、市域の脱炭素化や民

- ・脱炭素型ライフスタイル事業参加者
：3,000人/年

【生活環境課】



- 3 「第三次入間市環境基本計画」に基づき、単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換を推進するため、工事費用の一部を補助する等、生活排水による河川の水質汚濁防止に取り組めます。

- ・目標転換基数：22基

【総合クリーンセンター】



- 4 ごみの減量・資源化を推進します。

- ・家庭系ごみの減量：年間330トン
- ・ごみ収集回数の見直し
- ・埋立処分から全量資源化への取組

【農業振興課】



- 5 おいしい狭山茶大好き条例に基づき、市の特産物である狭山茶の生産振興を図ります。

- ・狭山茶の日のPR及び狭山茶店舗活性化事業の実施

- 6 農畜産物の地産地消の取り組みを推進するため、「ふれあいマルシェいるま」及び「出張！入間のうまい市」を開催します。

- ・合計開催回数：年間10回

【商工観光課】



- 7 地域課題の解決や賑わいのあるまちづくりのため、入間市商工会や商店街などを支援し、空き店舗活用に取り組めます。

- ・空き店舗活用創業支援事業補助：新規3件

間企業との連携を実践しました。

- ・参加者：3,200人（累計）

- 3 補助制度の利用について、ホームページへの掲載や浄化槽清掃業者との連携によるチラシの配布等、案内や周知に取り組みました。目標の基数は達成できなかったものの、20基を転換することができました。

- ・転換基数：20基

- 4 ごみの減量・資源化施策の推進状況は以下の通りです。

- ・家庭系ごみの減量：年間1,537トン（5.7%減）
- ・家庭ごみ収集回数は、審議会から見直しに対する答申がされ、今後ごみ量等に応じた見直し案の策定を進めます。
- ・全量資源化に向けて、焼却灰や焼却残渣等の、一部資源化を開始しました。

令和5年度は焼却灰 954.79 トン、焼却残渣 201.67 トン、破碎残渣 94.75 トンをリサイクルしました。

- 5 令和5年6月4日（日）が、「おいしい狭山茶大好き条例」施行後、初めての「狭山茶の日」となり、博物館アリットを会場に各種イベントを実施し、「狭山茶の日」をPRしました。

狭山茶店舗活性化事業では、狭山茶のおいしさを広める活動をしている、中高生で構成する団体「ていぐりー」が考案した「お茶屋さんスタンプラリー」を実施しました。

- 6 「ふれあいマルシェいるま」を4回開催、「出張！入間のうまい市」を5回開催し、新鮮な農畜産物を直売することで、地産地消に取り組みました。

- ・合計開催回数：年間9回

- 7 市内で創業を予定、検討している方、創業して間もない方を対象として、入間市商工会との連携事業として、創業に関するポイントを学べる「創業塾」を開催しました。また、市内の空

8 地域住民の就職促進および利便性の向上を目的に、入間市ふるさとハローワークとの連携や、就職面接会の実施など相談体制を充実させ、地域雇用の促進を図ります。 ・労働相談件数：30 件 9 広大な茶畑の景観を活かした非日常的な空間を創出し、狭山茶を五感で堪能できる体験型観光を実施し、狭山茶ブランドの向上を図ります。 ・「茶畑テラス」予約組数：300 組	き店舗を利用して創業等する場合に、店舗改修費用やその家賃を補助する「入間市空き店舗活用創業等支援補助金」を実施しました。 ・空き店舗活用創業支援事業補助：新規4 件 8 就職活動や転職など、就業に関する様々な悩みや不安を解消させることを目的の若年者就労相談事業や、労働関係の諸問題の事前防止や早期解決に導くことを目的に労働相談・労働講座開催事業を実施しました。 ・若年者就業相談件数：40 件 ・労働相談件数：30 件 9 茶畑テラス「茶の輪」は、オープンテラスのため、天候による影響が大きく、目標値は下回りましたが、期間限定の茶摘みプランなど、季節や利用者の声に合わせて魅力的なプランを提供することにより、利用者満足の向上や利用者の増加を図りました。 また、公式 Instagram を使用した情報発信や WEB 広告の配信、他団体との連携など、茶の輪及び狭山茶の認知拡大を積極的行いました。 ・「茶畑テラス」予約組数： 137 組 ・各種メディアによる宣伝件数：27 件
---	--